

公共施設の最適化（包括管理業務委託、新庁舎整備）

アナ： 「市長が語る2023三島」第12回の今日は、「公共施設の最適化」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： まずは、公共施設の包括管理業務委託から伺います。
今年度から導入したそうですが、どのようなものか教えてください。

市長： この業務委託は、これまで施設の種類に応じて管理する部署が異なっておりました三島市が所有する庁舎や小・中学校、市営住宅などの85施設について、保守点検や小規模な修繕業務を包括管理事業者に一元化するものでありまして、県内では4番目の導入となります。

アナ： なるほど。今回、包括管理という方法を採用した目的は何でしょうか。

市長： はい。

専門的な知見を有する者が同一の視点で市の施設全体を客観的に見渡しながらか、維持管理水準の向上や業務の効率化、将来的なコストの低減を図ることを目的としています。

アナ： 包括管理は、公共施設の最適化にどのように繋がるのでしょうか。

市長： 包括管理事業者による巡回点検や小規模修繕の実施結果のデータを蓄積することで各施設の長寿命化に役立てるとともに、予防保全の徹底により、将来的に見込まれる維持管理費を抑えるなど、持続可能な維持保全サイクルを構築いたしまして、公共施設の最適化に繋げてまいります。

アナ： 今まで以上に効率的な管理が可能ということですね。

ところで、公共施設の最適化ということで、市民の皆様が一番関心を持っているのは、市役所の建物ではないかと思いますが、庁舎の現状と課題について教えてください。

市長： 現在の本庁舎は、昭和35年に完成し、建設後60年以上が経過していることから、老朽化が進み、毎年多額の維持管理費用が必要となっております。

また、3か所に分散している庁舎は、いずれも、待合や受付窓口、執務スペースをはじめ、会議室や倉庫なども十分な広さがあるとはいえ、セキュリティやプライバシーの確保、バリアフリー化などへの対応も課題となっております。

加えて、敷地内の駐車場は、駐車台数に限りがあることから、混雑することも度々ございます。

アナ： 本庁舎は、建設後60年以上経っているとは知りませんでした。

それと確かに、市役所の駐車場は時折混雑しているような印象がありますね。

市長： 令和元年に実施いたしました市民アンケートによりますと、市庁舎の

利用者の内、7割を超える方が自家用車で来庁されるという結果でございましたので、駐車場の問題は、喫緊の課題と認識しております。

アナ： 施設の老朽化やスペース不足、庁舎機能の分散化の改善をはじめ、駐車場問題の解消など様々な点で、新庁舎整備が必要ということですね。

今後、どのように取り組んでいかれるのでしょうか。

市長： **令和13年度に新庁舎での業務を開始できるよう検討を進めております。**

現在は、事業の骨格となる基本構想の策定を行っており、市民の代表者や各種団体の推薦者からご意見をいただくために市民ワークショップを開催するとともに、学識経験者や公的団体の代表者などが総合的、専門的な議論を重ねる「新庁舎整備検討委員会」を組織するなどして検討を重ねております。

また、本年9月と来年2月の2回にわたり、皆様から意見を募るパブリックコメントも実施する予定でございまして、可能な限り多くの方々からの意見に耳を傾けることを大切にしながら取り組んでまいりたいと考えております。

アナ： 令和13年度の業務開始に向けて、専門的な議論だけでなく、多くの方々の意見を大切にしながら取り組んでいらっしゃるということがわかりました。

豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： **ありがとうございました。**